

授業概要

公認心理師の指定科目である。

様々な障害のある人に心理的な支援をするにあたり、障害児（者）の心理や身体機能の障害、精神的な障害に関する基本的な知識を習得することを目的とする。障害児や者の心理社会的な支援は、どうあればいいか、また家族を含めた周囲の環境に配慮した関わり方や支援についての視点を持てるように指導する。また地域社会における障害者の社会参加をどのようにして支援していくかについて概説する

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	視覚障害の理解と心理的支援（家族支援を含む）
第3回	聴覚障害の理解と心理的支援（家族支援を含む）
第4回	言語障害の理解と心理的支援（家族支援を含む）
第5回	運動障害及び病弱者の理解と心理的支援（家族支援を含む）
第6回	知的障害の理解と心理的支援（家族支援を含む）
第7回	自閉症スペクトラムの理解と心理的支援（家族支援を含む）
第8回	学習障害・注意欠陥・多動性障害の理解と心理的支援（家族支援を含む）
第9回	情緒障害の理解と心理的支援（家族支援を含む）
第10回	精神障害（気分障害の心理的支援（家族支援を含む）
第11回	精神障害（統合失調症）の理解と心理的支援（家族支援を含む）
第12回	精神障害（不安障害・人格障害など）の理解と心理的支援（家族支援を含む）
第13回	幼児・学童期の障害児への教育と発達支援（家族支援を含む）
第14回	青年・成人期の障害理解と発達支援・就労及び福祉支援
第15回	共生社会に向けた障害理解・支援
第16回	試験

到達目標

- 1) 身体障害、知的障害及び精神障害に関する基礎的な理解する視点を身につける
- 2) それぞれの障害の原因や種類、特徴等を整理して理解する
- 3) 障害児（者）の心理・社会的な課題とその支援について要点を整理して覚える
- 4) 障害（児）者の家族への支援についての視点を持てるようにする

履修上の注意

公認心理師の指定科目である。

出席は3分の2以上を要すること

評価方法

筆記試験 70%、小レポート30%、受講態度10%の総合的な評価を行う

出席は3分の2以上を求めます。

テキスト

太田信夫 監修 柿澤敏文編集「障害者心理学」北大路書房
他に適宜資料を配布します。